

近頃の出来事

vol.22 「夏の始まり」

上海酒家 店長 廣田 麻美

がっば、暑か夏に突入しました！水分補給を忘れずに！ウチは、昼は水、夜はアルコールで摂取(笑)して、雨が降ると髪の毛が伸びるちゃんね。数ヶ月、美容室に、行く暇もなく、終いには、〇イ〇のゴツになって、道行く人は、ギョッとさせた(汗)知り合いからは、お前、ばさらか、髪の毛伸びたんのうー、ふえフェ(爆笑)された。んで、やっとこさ、時間を作って、イザ美容室に出かけた。今までは、赤いカラーにしてもろった！したら、今回は、オレンジ色にしましょうか？の提案に、素直なウチは従った。して、出来上がりは、どげん見ても、今流行りのBTSの兄ちゃんの、ごたる髪型に(涙)店に帰ったら、絶対に、がらるち、びびって行ったら、一言「変な髪型」ち、言われて、はいお終い！みたいな感じ。病院に行ったら、担当の先生も、ギョッとして、どうした？まあ、目立つけん、良いかな？との反応やった(´ ˘ ˘) まあ、雨降ったら、また伸びるけん、良からうち、思ったら、梅雨明けしたようだ(´ ˘ ˘) そいけん、髪の毛、いっちゃん、伸びん(´ ˘ ˘) がば悩ましい夏が、始まった(´ ˘ ˘) ようだ。

中国料理 上海酒家
久留米市六ツ門町2-16 第5泉屋ビル6F
TEL.0942-39-8139
営業:11:30~14:30、17:00~21:00
休:水曜
shanhaishuka



広報部長 太郎くん

SARのUWANTANA飯
第四十二回
[うどん茶寮 花むらさき]
八女市本町148-6
TEL:0943-23-7344



日本一遅い梅雨明けを迎えた九州地方。それと同時に、毎日、唸るような暑さを迎え、夏本番の8月になりました。若干の涼しさを迎えるお盆すぎまで、猛暑との戦いです。ぜひとも熱中症対策は、万全にしたいものです。今年のお盆は、念願のふるさとへの帰省など、ここ数年にない、お盆を迎える事ができそうですね。ふるさとで、暑さとは別の、温かさを迎えて下さい。

さて、今月のUWANTANA飯は、前回に続いて、筑後うどんをご紹介します。八女市にある、うどん茶寮 花むらさきです。こちらのお店、もちろんうどんも美味しいのですが、色んな小鉢に、刺身、天ぷらなど10品がついた花ランチ、12品がついた、みやび膳が、最高で超おすすめです。花ランチには、ミニステーキ丼、ミニヒレカツ丼など、色んなミニ丼がチョイスできます。デザートも、食後のコーヒーもついて、もちろん、うどんもついています。ちなみに、花ランチ ¥1,437(税別)、みやび膳 ¥1,710(税別)とコストも最高です。八女の人気老舗うどん屋さん、つるやうどんの、姉妹店でもあります。豪華な、うどんつき、ランチセットに、毎日、多くのお客さんに、にぎわっています。

八女市福島白壁の町並みを楽しみつつ、人気のうどん屋さんのUWANTANAランチ飯を、ぜひ、ご賞味あれ。

Dr.わーだーの養生記

vol.52
「脱水症と熱中症対策」

こちいいん わだ とよふみ
心血医院 院長 和田 豊郁



呼吸の湿度は100%。息を吐くだけで水が失われます。おとなはこどものようにはのどが渇かないのは筋肉や肝臓で水と熱と炭酸ガスが発生するから。おおむね37℃くらいが代謝に適した温度で、余った熱は頭頸部の気化熱や吐息で捨てますが環境温は体温-10℃以下であることが必要です。発熱量が多い人は手足からも放熱しています。逆にじっとしていると筋肉から出てくる熱も水も少なくなり手足に行く血が減ります。脱水状態です。血の通わない手足は冷たく、冷たさや寒さを感じ暖かさを求めます。これが高齢者が高い室温の部屋にいる理由です。手足を動かさないので冷えて寒いのですからエアコンで室温を下げることも扇風機を使うことも嫌がります。対策は筋肉を動かして体温を上げてもらうことしかなく、元気がないなら点滴で脱水を治療するしかありません。点滴で体温が下がるため体は熱を作ろうとして元気を取り戻すのです。動かなくなったら危ない。点滴一択になってしまいます。

心血医院(こちいいん)
久留米市日吉町14-68 TEL.0942-65-5129
診療時間:(月~土)9:00~12:00
(月・木金)19:00~22:00
休診日:日祝・盆・年末年始



もりさんぽ

vol.57 「SECOND誌がツナグ!ご縁」

ヒト・モノ・コト ツナグ研究所
商業活性 人材育成コンサルタント 久保 森住光
moribon0511



まちなかには、6回連続の「土曜夜市」を終えましたが、すっかり夏模様。暑さが身体に堪える八月のスタートです。暑さが酷いと外出を控えたり、時短になったりして商店街界隈への来街は減少します。頭が痛い現実。楽しんでいただけるよう、商業活性に知恵を巡らせます。

フリーペーパーの役割は情報発信の確かさと、タイムリーな話題提供にあると思っています。ちょっと自慢気ではありますが、『SECOND』とこのコラムに関する件です。数回前のこのコラムで、あるお店の紹介をさせていただきました。そのお店から、「『もりさんぽ』を読まれたお客様が、久しぶりに来店してくれました。うれしかったです」とのお話を伺いました。コロナ禍で遠のいたお客様が、来店された！サービスを受けられた。ヒトとモノとコトをツナグことが出来た！本当にうれしくなります。しかしこれも、本誌『SECOND』があればこそ。感謝の日となりました。

本誌は、創刊10年、筑後地域を中心に、グルメな話題や季節の商材、サービスなどが掲載されています。また、各コラムは充実しており読みごたえ(もりさんぽを除外！)あり大評判。占いは、ひとつの方向性を指し示してくれます。さらに、先月からは佐賀県版も登場！より幅広いエリアをカバー。これからの展開が楽しみです。

私の役割は久留米の街を、地域を良い形にして子どもたちの時代に繋いでいくこと。自分ひとりでは成し得るものではありません。たくさんの皆さまと意見交換を行い、手を携え、最善策を考えていく。中心市街地の居住人口が増加し、路線価が向上しようとも「まちづくり」「商業活性化」に終わりはありません。お住まいの皆さまが「幸福」を実感し、「住み続けたい街・久留米」となるよう、努力を続けていきたいと思っています。

輝く阿蘇 vol.86

写真家 長野良市



1957年阿蘇生まれ、南阿蘇在住。約40年フリーランスの写真家として国内外で活動。熊本地震、コロナ感染症後、地域活動に専念。IT社会に於ける人の生き方、地域の有様を模索中。過去、写真集を8冊発行。

「南阿蘇鉄道再開」

2016年4月の熊本地震で被災した南阿蘇鉄道が、7月15日、7年3ヶ月ぶりに再開した。立野(南阿蘇村)~高森(高森町)の全線17.7kmの運行を開始、朝の通勤時間はJR豊肥本線の大津駅(大津町)への乗り入れも始まった。

約7年を要する復旧工事だったが、白川第一橋梁と二つのトンネル工事の補修と作りかえが今日まで時間を要した理由だった。地形的には外輪山が唯一切れ、熊本平野へとつながる立野火口瀬にこの橋とトンネルがある。この火口瀬から熊本地震を引き起こした布田川(ふた

がわ)断層が並行して走っている。

最終的には白川第一橋梁の架け替えと橋の両側にあったトンネルの西側、つまり立野駅側にあった犀角山(さいかくやま)トンネルの損傷が激しく、その撤去と新規の枕木敷設などに工事時間を要したという。

私の熊本地震の写文集「ゼロの阿蘇-500日の記録」によると、2016年6月2日、立野駅の次にある長陽駅から線路を歩いて北向山原生林の中を通関する全長1キロメートルのトンネル(白川第一橋梁東側)の被災状況を撮影に行っている。トンネル入口近くにある鮎婦りの滝の山の側面が大崩落を起こし、一部、川をせき止め、トンネル内部に水が流れ込んだ形跡があった。何より、トンネル内部の崩落状況は余震もあり、恐怖で確認できず、ただ、入口から覗いた向こうにトンネルの出口の明かりが見えたことを思い出す。

さて、私たち沿線の住民は、開通再開に当たって15日当日は朝一番列車から開通記念のセレモニーが行われた12時

10分高森駅発のセレモニー列車に、開通を祝う旗を振った。沿線住民が多く集まり、久しぶりの賑わいと満員列車に嬉しさがこみ上げた。

地震前、鉄道の利用者は激減、車社会は列車に乗る機会を奪い、廃線論議さえ起りかねない状況だった。でも地震からの復活は、復興のシンボルとして日本の経済的、土木技術の国力を内外に見せつけた。時間になれば列車の汽笛が、ある意味確実な生活時間を約束している。日常なくてはならないものの大切さを多くの住民があらためて考えさせられた時間だった。

ところで、私の中学時代からの友人に、最近、作家活動を始めた者がいる。第八期「九州文学」2023年春号に、小説「南阿蘇戦記」を掲載した塚元秀樹氏である。長く関東で生活していたがUターンして「阿蘇のことを題材に書く」と歴史小説を書き始めた。明治初期、南阿蘇で活躍した実在の政治家・長野一誠を主人公に今回、西南戦争を題材

に書いたが、その第二弾「南阿蘇鉄道緑」を今回の再開に併せて書き上げた。熊本から大分につながる豊肥本線完成後、南阿蘇鉄道の前身、高森線の完成秘話である。昭和3年に完成する高森線の歴史が面白い。続きは次回になる。



南阿蘇鉄道再開・阿蘇下田駅近く

一般社団法人九州学び舎
〒869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽1475-1
電話:0967-67-0132 / 0967-67-2108
FAX:0967-67-1540
メール:kyushumanabisha@gmail.com
http://kyushumanabisha.wix.com/home

そめや歯科
朝8:30から診療
訪問診療も受付
通町4-11 ☎46-2218

動物と暮らす vol.47

横山さんとキキくん・ノンくん



2匹は小郡市にある国産天然はちみつ専門店 honey bell(ハニーベル)の看板猫たちです。お客様から可愛いがられ、いつもスリスリ、ゴロゴロ喉を鳴らして待っています。友人が保護していた野良ちゃんだった2匹の新しい飼い主を見つけるために対面するとあまりの愛らしさにメロメロ。2匹とも連れて帰ることになりました。外が大好きで、ハンターのキキは、お客様を出迎える役目。体がとっても大きくて、動きものんびり屋さんのノンちゃん、お店のソファーにどっしりと座り、店内でお客様をお出迎えています。横山さんはハニーベルのオーナーです。

動物を飼うことは、動物の命を預かることです。正しい飼い方などの知識を持ち、飼い始めたら、動物の種類に応じた適切な飼い方をして健康・安全に気を配り、最後まで責任をもって飼いましょう
●久留米市動物管理センター TEL.0942-30-1500